

## 2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼間部		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	言語発達障害 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期 火曜3限	教室名	第4校舎401
担 当 教 員	本田美子、小川れい	実務経験と その関連資格				
<b>《授業科目における学習内容》</b> 言語の発達に不安を感じて訪れる親子を、私たち言語聴覚士はどのように迎え入れればよいのか。前半は発達障害、特に知的障害児における言語・コミュニケーションの問題について学びます。後半は、親子への面接法を身につけ、問題点の解消に導いていく道筋を学び、評価・検査内容を概観し、指導・支援の考え方や方法にも触れます。						
<b>《成績評価の方法と基準》</b>  学期末試験(筆記)において60%以上の得点をもって合格とする。						
<b>《使用教材(教科書)及び参考図書》</b>  標準言語聴覚障害学「言語発達障害学」第3版 発達検査・知能検査・言語発達検査などの用具						
<b>《授業外における学習方法》</b>  繰り返し、学習していきましょう。自宅で復習できなかった時は、授業開始前に数分でも良いので前回分の内容を振り返ってください。						
<b>《履修に当たっての留意点》</b>  言語発達の遅れや偏りをみきわめるには、まずは標準的発達を正しく知り、理解を深めてください。そこから、言語発達障害を知り、特に知的障害児におけるコミュニケーションの発達特徴をつかんでください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語発達をとらえる観点を知る。	資料配布 パワーポイント	配布資料や教科書の該当箇所を復習する	
		各コマにおける授業予定	STの仕事や、言語とは何か、コミュニケーションとは何かを再確認する。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語の発達の基盤を理解し説明できる。	資料配布 パワーポイント	配布資料や教科書の該当箇所を復習する	
		各コマにおける授業予定	言語発達を支える発達の基盤を学ぶ。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語・コミュニケーションの定型発達を説明できる。	資料配布 パワーポイント	配布資料や教科書の該当箇所を復習する	
		各コマにおける授業予定	言語・コミュニケーションの定型発達を学ぶ。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	発達障害と脳との関連について説明できる。	資料配布 パワーポイント	配布資料や教科書の該当箇所を復習する	
		各コマにおける授業予定	発達障害と脳特性について学ぶ。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	知的能力障害について説明できる。	資料配布 パワーポイント	配布資料や教科書の該当箇所を復習する	
		各コマにおける授業予定	知的能力障害の定義を学ぶ。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	知的能力障害について説明できる。	資料配布 パワーポイント	配布資料や教科書の該当箇所を復習する
		各コマにおける授業予定	知的能力障害の症状を学ぶ。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	知的能力障害児の言語・コミュニケーションの特徴を説明できる。	資料配布 パワーポイント	配布資料や教科書の該当箇所を復習する
		各コマにおける授業予定	知的能力障害児の発達特徴を学ぶ。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	子どものことばの諸側面の状態を明らかにするための情報収集項目と収集方法を説明できる。	資料配布 パワーポイント	配布資料や教科書の該当箇所を復習する
		各コマにおける授業予定	主訴、生育歴、現症、関連機関からの情報収集を理解する。面接の実際、行動観察のチェック項目を学ぶ。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	基礎的検査、発達検査を理解する。	資料配布 パワーポイント	配布資料や教科書の該当箇所を復習する
		各コマにおける授業予定	基礎的検査の位置づけを学ぶ。新版K式発達検査、乳幼児精神発達質問紙、KIDS乳幼児発達スケールを紹介する。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	知能・認知検査を理解する。	資料配布 パワーポイント	配布資料や教科書の該当箇所を復習する
		各コマにおける授業予定	田中ビネー知能検査、WISC知能検査、日本版KABC-II、DN-CAS認知評価システムを紹介する。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語発達に関する検査を理解する。	資料配布 パワーポイント	配布資料や教科書の該当箇所を復習する
		各コマにおける授業予定	LCスケール、国リハ式言語発達遅滞検査、絵画語い発達検査、標準読み書きスクリーニング検査を紹介する。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	知的能力障害に対する評価と支援について説明できる。	資料配布 パワーポイント	配布資料や教科書の該当箇所を復習する
		各コマにおける授業予定	類型判断のための評価と支援のための評価を理解する。支援の基本的な考え方と、養育者支援・子どもへの個別支援を学ぶ。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	知的能力障害の重症度に応じた支援について理解する。-①	資料配布 パワーポイント	配布資料や教科書の該当箇所を復習する
		各コマにおける授業予定	事例を通して学習する。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	知的能力障害の重症度に応じた支援について理解する。-②	資料配布 パワーポイント	配布資料や教科書の該当箇所を復習する
		各コマにおける授業予定	事例を通して学習する。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	知的能力障害にまつわる環境調整と連携について説明できる。	資料配布 パワーポイント	配布資料や教科書の該当箇所を復習する
		各コマにおける授業予定	養育者支援における視点と心構えを学ぶ。施設間連携、社会資源や制度の活用を学ぶ。		